

後期学校評価結果の考察

2月に実施しました学校評価質問紙の回答集計結果をお知らせします。お忙しい中、地域・保護者の皆様に御協力いただき、ありがとうございます。

質問内容が少し異なるところもありますが、保護者・地域の方、児童、教職員の結果を比較して御覧ください。数値は全体の中で肯定的な意見(できている・だいたいできている)の割合をあげています。また、()内の数値は、今年度前期学校評価結果との差を示しています。

キーワード<しっかり話を聞ける子>

保護者	児 童	教職員
子どもが先生や友達的话を しっかり聞いている	先生や友達的话を しっかり聞くこと	子どもが先生や友達的话を しっかり聞いている
82.1%(+2.9)	95.8%(+0.3)	80.0%(-9.5)

キーワード<自分の考え・思いを進んで話せる子>

子どもが進んで発表していること	進んで発表すること	子どもが進んで発表していること
64.7%(+0.4)	71.2%(+0.5)	84.6%(+0.5)

キーワード<粘り強くがんばる子>

子どもが一つのことを粘り強く がんばろうとすること	粘り強くがんばること	子どもが一つのことを粘り強くが んばろうとすること
76.3%(+3.3)	90.7%(-1.6)	92.8%(-1.7)

キーワード<認め合い、高め合う仲間づくり>

子どもが楽しく学校生活を送ること	学校が楽しいこと	子どもが楽しく学校生活を送ること
91.8%(+0.1)	90.2%(-3.0)	100%(+10)
学校が人権を大切にした 教育活動を行うこと	友達と仲良くすること	学校が人権を大切にした 教育活動を行うこと
84.0%(+2.2)	96.3%(-1.0)	100%(±0)

キーワード 確かな学力

子どもに基本的な学力が 身についていること		子どもに基本的な学力が 身についていること
87.4%(+3.9)		100%(+10.5)
子どもが授業の中で満足感や 達成感をもてること	勉強が楽しいこと	子どもが授業の中で満足感や 達成感をもてること
85.0%(+5.2)	87.9%(-2.2)	91.6%(-8.4)
	勉強が分かること	
	92.5%(-2.1)	
子どもが読書の習慣が 身に付いていること	毎日本を読むこと	子どもが読書の習慣が 身に付いていること
55.1(+2.3)	88.4%(+0.1)	76.9(+8.5)

キーワード 学習準備・土台づくり

子どもが学習準備を整え、 忘れ物をしないこと	忘れ物をしないこと	子どもが学習準備を整え、 忘れ物をしないこと
74.4%(-2.8)	78.6%(+0.7)	71.4%(-6.4)

保護者	児 童	教職員
子どもが学校のきまりや約束を守って生活すること	きまりや約束を守ること	子どもが学校のきまりや約束を守って生活すること
88.9% (-0.2)	96.7% (+1.2)	94.1% (-5.9)
子どもが望ましい言葉づかいをすること	正しい言葉づかいをすること	子どもが望ましい言葉づかいをすること
67.6% (+2.8)	91.6% (+0.1)	72.2% (-17.8)

キーワード 気持ちのよいあいさつができる子

子どもが進んであいさつすること	進んであいさつする	子どもが進んであいさつすること
77.8% (-0.9)	97.7% (+2.7)	72.2% (-12.8)

キーワード 「夢をもとうよ」

子どもが将来の夢や希望について考えること	夢や希望をもつこと	子どもが将来の夢や希望について考えること
68.6% (+10.1)	92.1% (+2.0)	93.4% (+14.4)

キーワード 人権教育の大切さ

いじめのない学校づくり	いじめは絶対にしない	いじめのない学校づくり
82.1% (+0.3)	96.8% (-1.1)	100% (+5.0)

キーワード「家庭・地域とともにワンランクアップをめざす」

学年に応じた時間， 家庭学習をすること	学年に応じた時間， 家庭学習をすること	学年に応じた時間， 家庭学習をすること
59.0% (+1.5)	72.1% (-2.4)	76.9% (-4.4)
子どもが十分な睡眠時間をとること	早ね・早起きをすること	子どもが十分な睡眠時間をとること
82.6% (+8.0)	73.5% (-7.3)	57.1% (-1.7)
保護者として， 学校の教育方針を知ること		学校(学園・学級)の教育方針が分かるように心がけている
78.7% (-4.3)		93.8% (-6.2)
保護者として学校だよりやホームページで 学校の様子を知ること		学年だよりやホームページを通して 学校の様子が分かるように心がけている
83% (+0.2)		100% (+10.6)
保護者が教職員に気軽に 質問や相談ができること		保護者が気軽に質問や相談ができるように努めている
83.2% (+7.7)		100% (±0)
P T A活動が活発に行われている		P T A活動が活発に行われている
78.7% (-2.7)		93.8% (-0.2)
保護者として学校行事に 参加すること		保護者が学校行事に参加できるように働きかけている
80.2% (-4.3)		86.7% (-13.3)
保護者としてP T A活動や地域 活動に参加すること		P T A活動や地域行事に 参加すること
63.4% (-1.0)		56.3% (-27.1)
子どもが地域行事に 参加すること		子どもが休日の学校行事や地域行事に参加するように働きかけている
68.3% (-0.9)		93.3% (+4.4)

以下の数値は肯定的な意見（「できている」「大体できている」を合わせた数値）です

以下の意見は、結果を受けての職員会・学校運営協議会の理事の皆様から出た意見をまとめてみました。



子育ての基本（前提）

子どもは、家庭と学校（地域）両方で 育てていきます。

睡眠時間に気を付けて頂いているようです。

ありがとうございます。

十分な睡眠時間

保護者 82.6%

(+8.2ポイント)

教職員 57.1% (-1.7)

授業中に睡眠不足のせいか、だるそうにしている子がいます。

がんばりの元は睡眠と食事です。

最近、いろいろなところで睡眠の大切さについては、言われています。学校でも、ここ数年、生活習慣の中で、特に気を付けてほしい項目として、取り上げているのが「睡眠時間」です。

ある研究では、一番寿命が長かったのは、平均7時間半睡眠をとっているグループだったという結果もあるそうです。わたしたち大人も心と体の健康のためにぜひ睡眠時間を確保しましょう。

保護者の方は一番め・学校教職員は二番めに子どもに近い大人です

気軽に相談

保護者 83.2%

(+7.7ポイント)

これからもよろしくお願いします。

子どもが一人の大人として一人前に育て上げるまでには、不安や悩みが出てくることは当然です。ましてや、これからは私達が小さい時の時代とは、全く違ってきています。そんな時代だからこそ、保護者の皆様と子どもを真ん中に置いて、よりよい成長のために何が大切かを一緒に考えていきたいと思っています。

子どもに将来の夢や希望をもって生きていってもらうためには・・・

夢や希望をもつ

児童 92.1% (+2.0)

教職員 93.4% (+14.4)

保護者 68.6% (+10.1)

おうちで子どもたちと将来の自分のなりた姿についての話をしているご家庭が多くなってきたのではないかと思います。子どもに夢をもって生きていてもらいたいと思ったら、まず、私達大人が明るく夢を語ることが大切なのかもしれません。

教職員間で 再確認しました！！

「しっかり話を聞く」ことの質を高める

教職員 80.0% (-9.5)

一見、静かにしているようでも、本当に自分事として、その話を聞いているのかどうか、それを見極めていくことが大切であることを再確認しました。また、子ども達にも、「人の話を聞く」ことは「お互いの人権を大切にすることにもつながる」という話をしました。そして、学校だより2月号でとりあげましたように、話を聞くレベルを高めていくことが今後子ども達に付けていきたい力として、とても大事であることを伝えていきます。

かっこいい、素敵な耳のレベル

人の話を静かに聞く。
話している人の目（顔）を見て聞く。
話している人が、一番言いたいことは何か
を考えながら聞く。



基礎・基本の力と応用力・・・どちらも大切で、どちらも今後
絶対に必要な力です！！

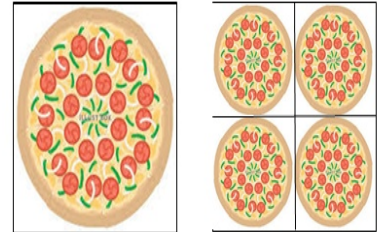
そのピザ屋さんに売られていたピザは・・・

基本的な学力が身についている

保護者 87.4% (+3.9)

教職員 100% (+10.5)

本校の児童の基礎・基本的な学力実態については、今年度のジョイントプログラム1回目・2回目とも京都市全体の小学校の平均正答率と比較すると、本校の3年生～6年生まですべての学年で正答率が全市平均に近い結果が出ています。



パフォーマンス課題例(6年)
「どちらが お得？」

この結果から見ると、本校の子ども達の基礎学力については、ある一定の力がついてきたと考えています。しかし、これからの時代に求められる力は、確実に身に付けた基礎・基本の力を活用して、新たな未知の課題を解決していく力が求められてきます。また時には、答えのない問いに対して、仲間と一緒に意見を出し合って新たなものを創り出すような力も必要です。

そこで、本校では、今年度算数科を中心に『パフォーマンス課題』という、子どもたちにとっては少し挑戦的な課題を設定して、それに取り組む授業を考え、実践してきました。「パフォーマンス課題設定の授業」は教科書の問題を参考にしながらも、できるだけ子ども達の生活に近い場面を設定し、その中で問題解決していく力を付けていくことがねらいです。このパフォーマンス課題の授業をより効果的にするためには、今までよりもさらに教員の教材研究・授業準備などの時間確保が必須です。ましてや、3年生からの英語（外国語活動）の時間数増加・道徳の教科化・プログラミング教育への対応など、教育現場は子ども達にこれからの新しい時代の流れに対応していく力を付ける教育を推進していくために、まさに変革の時を迎えています。一方、「教員の働き方改革の推進」の必要性が社会的な課題となっています。そんな社会情勢の中、今まで学校で実践してきた取組を何もかもそのまま踏襲していくことについて見直す時期にきていると考えています。つまり、子ども達が「これからの時代をたくましく生きぬく力をつける」ことを最優先に考えていくために、改めて取捨選択していくことが大切であると考えています。

そこで、今、本校では、新年度を迎える前のこの時期に、今年度の本校の教育の成果と課題について、本校教職員はもちろん、近隣保・幼・小・中学校や学校運営協議会の皆様とも意見交流し、向島小はもちろん、向島東地域の子ども達により確かな力を付けられるようにするためにどうすればよいかについての議論を進めています。

【学校運営協議会の皆様のご意見】

睡眠時間の確保が難しい・・・幼い時から（小学校就学前）の「寝る時刻」の習慣づくりがかぎになる。

寝るまでの時間の使い方が大事（見通しをもった時間の使い方ができる力を付けられるようにする）

学校の授業以外の場面での言動が気になる・・・授業の場面ではできていることでも、放課後、先生の目がないところでは、何をするとするか（何をしたいはいけな）の判断が付けられない実態があるのが気になる。